

PCによる新たなデジタルライフを提案する、 ホームサーバ・クライアントソリューション Lui

NECパーソナルプロダクツは、PC（パーソナルコンピュータ）事業の更なる拡大に向けて、ユビキタス時代に向けた新たなユビキタスソリューションの事業化に取り組んでいます。2008年4月、ユビキタスソリューションの第一弾として、ホームサーバ・クライアントソリューション「Lui（ルイ）」を発売しました。本特集では、Luiのコンセプト、商品概要、及びそれを実現する独自技術について解説します。

NECパーソナルプロダクツ
ユビキタス事業開発本部長

栗山 浩一

1 背景

昨今、PCを始め、携帯音楽プレーヤや、デジタル放送対応テレビ、HDDレコーダといったデジタルAV機器の急速な普及とともに、それらをホームネットワークで接続して利用できる環境も整備されつつあり、様々なデジタルコンテンツを多様な機器で楽しむことができる利用シーンが広がってきました。

更にFTTH加入世帯の増加や公衆無線LANサービスの拡大により、インターネットを介して、宅内だけでなく宅外からも、デジタルコンテンツを活用することが可能になってきています。

このようなデジタルコンテンツ活用環境の拡充や、ブロードバンドネットワークインフラの普及は、多様なデジタルコンテンツを一元管理し、それを、いつでも、どこからでも、簡単に利用したいという新たなニーズを生み出しています。

一方、モバイルPCに代表されるように、いつでも、どこでもPCを利用したいというニーズも、PCの利用シーンの広がりに合わせ、ますます増加しています。

今後、NGN（次世代ネットワーク）やWiMAXなどの新たな通信インフラの登場とともに、デジタルコンテンツやPCの利用形態が多様化・高度化することで、これらのニーズが更に高まってくるものと予想されます。

2 NECパーソナルプロダクツの取り組み

NECでは、パーソナルコンピュータの黎明期より、PC-8001（1979年発売）シリーズやPC-9801（1982年発売）シリーズといったヒット商品を世に送り出し、日本のPC市場を牽引してきました。

その後も、常に時代の変化を先取りしたPCの開発・商品化に取り組み、数多くの新しいPC利用シーンを開拓してきました。

また、PC以外でも、PCで培った技術やノウハウをベースに、電子メール専用端末「Mobile Gear」や、ホームAVサーバ「AXシリーズ」などの、PCと連携する新たなソリューション提案も行ってきています。

このような取り組みの一環として、来るべきユビキタス時代に向け、新たなソリューション提案を行ったのが、ホームサーバ・クライアントソリューション「Lui」です。

3 “Lui”のコンセプトとそれを具現化した新技術

ホームサーバ・クライアントソリューションLuiは、「Life with Ubiquitous Integrated solutions」の頭文字をブランド名に冠

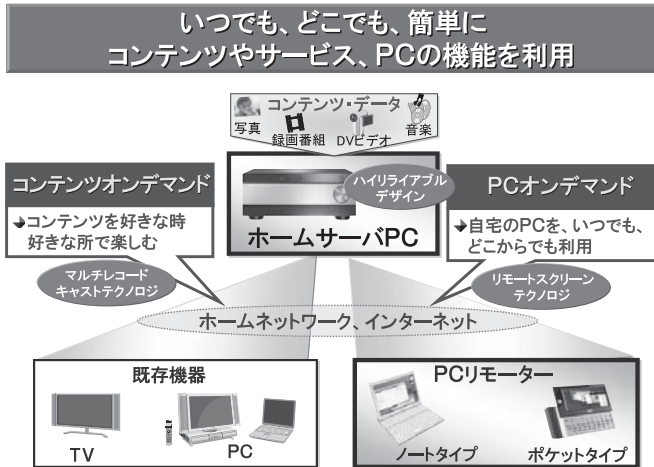


図 Luiのコンセプト

しているとおり、最先端のネットワーク環境におけるPCやデジタルAV機器の新しい使い方を先取りし、ホームサーバPCを核としたユビキタス時代の新たなデジタルライフを提案するソリューションです。

Luiのコンセプト（図）は、各種デジタルコンテンツやインターネットサービス、更には、PC機能それ自体を、いつでも、どこでも、簡単に利用できる世界を目指したものです。

デジカメ写真、ビデオ映像、音楽などのデジタルコンテンツを「ホームサーバPC」で一元管理し、それを、ホームネットワークやインターネットを介して、既存のPCや、ネットワーク（DLNA）対応テレビで視聴したり、ホームサーバPCのPC機能を、ネットワークを介して接続された小型・軽量のモバイル端末「PCリモーター」で遠隔利用したりできるようにするものです。

前者を、好きな時に好きな場所で、デジタルコンテンツを利用できるという「コンテンツオンデマンド」、後者を、自宅のPCが、いつでも、どこからでも利用できるという「PCオンデマンド」機能と称し、新しいPCの活用シーンとして提案しています。

弊社では、これらのコンセプトを具現化するために、3つの独自技術を開発しました。

ホームサーバPCの長時間・安定稼働を実現する「ハイライアブル・デザイン」、 「コンテンツオンデマンド」機能の1つであるデジタル放送の多チャンネル録画・配信を実現する「マルチレコードキャストテクノロジー」、 「PCオンデマンド」機能を実現する「リモートスクリーンテクノロジー」です。

これらの新技術によって、既存の技術では実現が困難な新た

な利用シーンを、他社に先駆けて商品化することができました。

4 発売までの経緯

Luiの商品化に当たっては、発売の3年前から、将来のユビキタス時代に向けた新しいソリューションの創出に向け、既存のPC事業とは独立したプロジェクト体制の下、コンセプトマーケティングから、それを実現するための基盤技術開発に取り組んできました。

商品の発売に当たっても、今までにない新たなコンセプトの理解深耕のため、2007年10月のCEATEC JAPAN 2007における技術発表、2007年12月のiEXPO 2007における商品コンセプト及び新ブランド名の発表、そして2008年4月の新商品発表と、ステップを踏みながら市場導入を図りました。

その結果、それぞれの発表タイミングにおいて、先進性、独自性について、数多くのマスコミなどで取り上げられました。

5 今後の展開

今後、家庭内においては、デジタル機器のネットワーク化の更なる進展、更に、ワイヤレスブロードバンドネットワークの拡充により、ホームサーバ・クライアントソリューションの目指す世界が、より身近なものになってくるでしょう。

ホームサーバPC自体も、デジタル放送の多チャンネル化を始め、ハイビジョン映像コンテンツへの対応、各種デジタルAV機器との連携強化など、より高度なデジタルコンテンツ利用を可能にしていくとともに、PCリモーターについても、利用シーンに合わせ、様々な形態のバリエーションを品ぞろえしていきたいと考えています。

進化したPCによる新たなデジタルライフの拡充に向けて積極的に取り組んでいきますので、ご期待下さい。

6 本特集の構成

本特集では、本稿に続き、ホームサーバ・クライアントソリューションLuiの商品概要及び技術概要について紹介します。

商品概要では、第一弾商品群の概要とともに、Luiによって実現される新たな利用シーンについて紹介します。続く、技術概要では、「コンテンツオンデマンド」、「PCオンデマンド」を実現する新たな3つの独自技術の詳細と特徴について、それぞれ解説していきます。